

■アイスランドの火山噴火

2010年3月20日、4月14日の2度にわたって、アイスランドのエイヤフィヤトラヨークトル氷河の火山が噴火した。

アイスランドは、北アメリカプレートとユーラシアプレートとの裂け目（ギャオ）の上に位置することから、今回の噴火を火山や地震のメカニズムを学ぶ際の事例とすることができる。しかし、現行の中学校地理的分野の学習内容を考えると、このできごとは、火山や地震の学習と関連させるよりも、「地域の結び付き」の視点で教材化することを試みてみたい。一般的に中学生には見えにくい地域間の結び付きの実態が、この事例では現れているからである。

地図帳にある航空路の地図を見てみると、おもな航空路のルートを読み取ることは容易であるが、実際にどれだけの便数の航空機がどれだけの人や物を運んでいるのか把握することは難しい。今回、ヨーロッパを中心とした30か国の空港が閉鎖され、4月15日から22日までの8日間で多くの航空便が欠航した。はからずも、その影響の大きさから、航空機

による「地域間の結び付き」の実態を知ることになったのである。

具体的な学習場面では、ヨーロッパを中心とした正距方位図法などの白地図に、おもな航空路と欠航による影響を整理して記入させる作業を設定すれば、中学生でも航空機による「地域間の結び付き」の実際を理解できる学習になるだろう。

噴火による航空便欠航の影響の例

全体的な影響

- ・欠航した航空機の数 約10万4000便
- ・航空業界全体の減収 約1600億円
- ・足止めされた人 約800万人

各国への影響の例

【イギリス】

- ・フェリーやユーロスター（鉄道）を利用して大陸へ移動する人が殺到する。

【ドイツ】

- ・レンタカーの借り出しが急増する。

【ポルトガル】

- ・大統領がチェコから2300kmを車で帰国する。

【ポーランド】

- ・首相の国葬に予定していた首脳のうち30か国は参加できず。

【チェコ】

- ・観光業の損失が20億円以上である。

【韓国】

- ・携帯電話や精密機械のヨーロッパ向け輸出（全体の30%）が停止する。

【アメリカ合衆国】

- ・自動車工場で、ヨーロッパ製の部品が不足する。
- ・音楽フェスティバルに参加する多くのアーティストがキャンセルする。

【ケニア】【エチオピア】【ルワンダ】

- ・切り花や野菜の輸出停止により多くの損害が出る。

【スペイン】

- ・サッカーチームのバルセロナがミラノでの試合のため、バスで985kmを移動。

【日本】

- ・アイルランド製の部品が不足し、2つの自動車工場が生産ラインを停止。
- ・チーズ、魚介類や医薬品の輸入が停止。
- ・ヨーロッパ経由で輸入するアフリカ産の切り花の輸送が停止。
- ・観光客やビジネスマン等が12000人帰国できず。

国際航空運送協会（IATA）、日本貿易振興機構（JETRO）、新聞各社の報道などの資料による

（さいたま市立白幡中学校 青柳敬二）



「中学校社会科地図 初訂版」p.149
世界の航空路と東京からの距離